

令和7年度地域クラブバドミントン大会 競技上の注意事項

この注意事項を遵守し、公正かつ円滑に大会運営が行なわれるようご協力お願いいたします。

1. 本大会は、令和7年度(公財)日本バドミントン協会競技規則、大会運営規程並びに公認審判員規程により行います。
2. 選手は、競技場で待機し、コール(場内放送)に従い、指定されたコートに集合してください。コール後5分を経過しても集合が確認できない場合は「棄権」とみなすこともありますのでご注意ください。
3. 各コートのバックバウンダリーライン後方にコーチ席2席を設置します。コーチはマッチ(試合)にふさわしい服装で臨んでください。裸足、スリッパではベンチに入れません。シューズを必ず着用してください。コーチ席へは、団体戦は各チームの監督とコーチ(申し込み用紙に記載のある者)の2名のみ。個人戦は、各チームの監督と、コーチとしてもう1名(申し込み用紙に記載がなくてもかまわない。)とする。
4. 団体戦は試合の前に各チーム3分間の練習を行います。個人戦は初戦のみ3分間の練習を行います。
5. 試合中の怪我等については大会主催者の指示に従ってください。主催者が認めた者(監督、コーチ、保護者)がコート内に入り、処置を行ないます。それ以外の者は選手に触れないでください。出血をともなう怪我(鼻出血を含む)については応急処置を行ない、主催者判断のもとで競技を続行します。それ以外の場合(足がつるなど)については、プレー続行を促し、続行不可能な場合は棄権を宣告する場合があります。
6. シャトルやラケットの交換、靴ひもの締め直し等でプレーを中断する場合には、必ず主審の許可を得てください。また、試合中の汗拭きや水分補給等は同様に主審の許可を得てください。飲み物は必ず栓ができる容器を使用し、フロアに水滴がこぼれないように配慮をお願いします。なお、選手の状況等によっては主審が認めない場合もあります。また、氷嚢やドリンクなどを入れるクーラーボックスをアリーナ内に持ち込むことは禁止します。持ち込む場合は、ソフトケースを使用してください。なお、ソフトケースも個人戦はコーチ席までしか持ち込めません。
7. マッチ(試合)中のコートまたはコート周辺でプレーヤーの携帯電話が鳴った時は、競技規則第16条第6項(4)違反とみなされます。競技区域での携帯電話の使用は禁止です。また、モバイル機器(スマートフォン・タブレット・携帯電話等)を使用しての試合中のアドバイス・コーチングも禁止です。
8. 競技規則第16条7項の規定により、以下のような行為は警告、フォルトまたは失格となりますので注意してください。
 - (1)プレーを故意に遅らせたり、中断したりすること。
 - (2)故意にシャトルに手を加えて破損したりすること。
 - (3)見苦しい服装でのプレー、審判員や観客に対する横柄な態度など、下品で無礼な態度や言動。
 - (4)コート施設を叩いたり、耳障りなかけ声や呼び声を発するなど、競技規則を超えた不品行または不快な行動。ネットや床をたたく行為は、競技役員長より警告をあたえます。繰り返されるようならば失格処分を下すこともあります。
9. 審判員の判定に対して疑問のある場合には、個人戦については当該選手に限り主審に質問することを認めます。ただし、抗議や異議は認めません。

- ・主審と線審が「イン」と判定したことに対して、「今のはアウトではないですか」と言うことは抗議にあたります。インやアウトの判定に選手が質問のようにでも主審に聞くことは抗議となります。
- ・選手やベンチから主審や線審のジャッジに影響を与えるような発言は認められません。場合によっては、選手は警告の対象となり、監督・コーチはベンチから退場となることがあります。
- ・質問とは、例えば、サービスでフォルトを取られたときに、何のフォルト(足が浮いた、シャトルが1.15mより高い位置で打たれた、など)を取られたのかを聞くことができます。ルールの解釈が主審と違うときに質問できます。

10. 選手は、試合中上衣の背面中央に必ず所属団体名(○○中、○○Jr.など)と選手の姓(同姓の選手が団体内に所属している場合は名前の一文字目)を示したゼッケンをつけて競技を行ってください。詳しくは、「愛知ゼッケン規程」を確認してください。

- ・ゼッケンは4点をとめてください。
- ・ユニフォームに学校名などがプリントされている場合、全てが隠れるようにゼッケンをつけてください。

11. 応援をする選手や保護者に次のことを連絡し、絶対に行わないように徹底してください。

- ①ラリー中の声援(サービスの構えに入った場面からラリー中です)
- ②ものをたたいての応援(団扇を含みます)
- ③フラッシュを使用しての撮影(ビデオのライトなどもプレーの妨げになります)
- ④観覧席の前列に立っての応援

12. 団体戦の勝敗については、以下のように決定する。

○予選リーグについて

(1)6チーム以上の場合、予選リーグを行う。順位決定のため、予選リーグは3試合すべてを行う。

(2)予選リーグの順位の決定は以下のように行う。

- ①勝利数の多いチームを上位とする。
- ②①が同じ場合は、以下の順で上位を決定する。
 - i) 取得マッチ率の高いチーム
 - ii) i が同じ場合、取得ゲーム率の高いチーム
 - iii) ii までが同じ場合、取得ポイント率の高いチーム
 - iv) iii までが同じ場合、当事者どうしの対戦で勝利したチーム

(3)順位決定のための特別な試合は行わない。

(4)両リーグの1, 2位で決勝トーナメントを行う。

(5)決勝トーナメントのシードはA1位、B1位、A2位、B2位の順とする。

○決勝トーナメントについて

(1)2マッチ先取で勝利とする。勝敗が決した時点で試合を終了する。

(2)準決勝で勝利したチームどうしで決勝戦を行う。勝利したチームを優勝とする。

(3)決勝で敗北したチームと、準決勝で優勝チームに敗北したチームで2位決定戦を行う。但し、予選で対戦があった場合、その結果を優先する。